【不正送金対策】公式サイトからログイン画面が消えた究極のセキュリティが登場！

みずほ銀行は２６日、インターネットバンキング「みずほダイレクト」を使った不正送金が増え、６月の被害が顧客１９人、計約２０００万円に上っていると発表。振り込みなどに必要な取引用暗証番号を、偽の画面に入力させて盗み取る手口で、同行が注意を呼び掛けている。

不正ログイン防止のための「ワンタイムパスワード」までもコンピュータウイルスで入手し、ネットバンキング利用者の口座から無断で現金を送金すると言う新たな被害が多発している。今年確認された不正送金の被害は９０００万円を超え、昨年の約４８００万円を大きく上回った。過去最悪だった２０１１年の約３億８００万円と同じペースだ。

警察庁は被害がさらに拡大するおそれがあるとして注意を呼びかけているのだが、毎年新たに生み出されるウイルスは約４億３００万種、１日平均で約１１０万種類（２０１２年９月シマンテック社）と言うのだから防ぎきれる数ではない。
そもそも公式サイトに「ログインできる入口」が存在するから、本人以外の人でも合鍵（ＩＤ、パスワード）があれば入れてしまう。入口（ログイン画面）がなければ絶対に入られることがないのに・・・

ＳＫＹ－ＮＥＴＷＯＲＫ株式会社（静岡県静岡市）は、ＮＴＴコミュニケーションズ社のＢｉｚＣＩＴＹで運営するＷｅｂサイト対面通信クラウド「ＰＯＰ＆ＧＯ」をユーザーの公式サイトに組み込むことで、ホームページ利用者と運営者（店員・スタッフ）がテレビ会話で対話する間に限って、特定のページ（非公開のページ）を一時解放し利用を許可することができるＷｅｂページインサーター（非公開ページ対面認証開示）を世界で初めて実現。
ＰＯＰ＆ＧＯは、≪月額わずか１万円から≫と手ごろな料金で、不審者による不正ログインを防止し、ネット運営者は利用者に対し安全・安心・信頼・信用を提供する社会的責任を果たす効果が期待される。

例えばネットバンキングの場合、≪公式サイトにログイン機能を置かず≫利用者は公式サイトから行員を呼び出す。行員は対面認証で本人確認できた時点で利用者に向けて≪非公開のログイン画面を一時的に解放≫、はじめてバンキングサービスの利用が可能になる。たとえＩＤやパスワードがウイルス感染やスキャニングで外部流出し、本人になりすまして不正送金しようにも、入口がないため入り込むことができない仕組みだ。
もちろん利用者との会話映像すべてを録画管理することもでき、万一の場合でも犯人特定に効果

が期待される。

「入口がなければ入ることも触ることもできないという当たり前」をＷｅｂサイトで実現したことでインタネット利用技術とセキュリティ技術は新たな段階に入った。
テクノロジーだけでは安全を保障できる時代にまだ至っていない今、人間とテクノロジーとのハイブリッドＩＣＴこそ安全を保障できるものと言えよう。

ＳＫＹ－ＮＥＴＷＯＲＫ株式会社
〒424-0821 静岡県静岡市清水区相生町6番17号
静岡市清水産業・情報プラザ(静岡商工会議所内)6F-615
TEL: 054-353-1211 （代表）FAX: 054-353-1216
ＴＶ電話サイト：http://sky-network.jp/

ＮＴＴコミュニケーションズ株式会社
公式サイト：http://www.ntt.com/spc/

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com